けやきの森市民大学 「立命館土曜講座」提携講座

第1回 **10**月 **25**日(金) 14:00 - 15:30

「茶道と日本美術」

講師 本多 潤子 (立命館大学文学部 授業担当講師)

第2回 **11**月 **1**日(金) 14:00 - 15:30

「服飾文化と日本美術」

講師 加茂 瑞穂 (立命館大学アート・リサーチセンター 客員研究員)

第3回 **11**月 **8**日(金) 14:00 - 15:30

「演劇と日本美術」

講師 赤間 亮 (立命館大学文学部 教授)

会場: 高槻市立生涯学習センター3階 研修室

定 員:50名(要事前申込) 受講料:2.000円(全3回分)

申 込: ①FAX 裏面 FAX 送信用紙に必要事項を記入して、

072-674-7704 へ送信。

②郵送 講座名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、 電話番号を記入し、〒569-8501(住所不要)へ

ハガキで郵送。

③Web 右の二次元コードを読み取り、 必要事項を入力して送信。

④窓口 直接生涯学習センター窓口へ。



問合せ: 高槻市立生涯学習センター

高槻市桃園町2番1号 市役所総合センター1階 電話:072-674-7700 FAX:072-674-7704 化 か ら 3

講座の概要

| 日 時 | タイトル・講師 | 内 容 |
|---|----------------------------|--|
| 第 回目 0 /2 5 (金) 14:00~ 5:30 | 「茶道と日本美術」 講師 本多 潤子 さん | 現存する美術品には、茶道具として複数の茶人達の手に渡り、時代を超えて珍重されてきた作品群があります。そして日本に喫茶の風習が広まった背景に禅文化との関係が指摘されています。禅宗寺院で厳修される仏教儀礼は日本の茶の湯文化にどのような影響を与えたのか、今回は儀礼空間としての茶の湯を紹介します。 |
| 第2回目 II/I(金) I4:00~I5:30 | 「服飾文化と日本美術」 講師 加茂 瑞穂 さん | 浮世絵には江戸時代の日常生活や季節、年中行事などが彩り豊かに描かれます。また、当時の人々の装いも描かれ、人々が何を着ていたのかを知ることができます。本講座では、絵画資料に加えて現在まで残る小袖や型紙などを通して、着ること、そして、装うことに対する当時の人々の好みやこだわりを紹介します。 |
| 第3回目 II/8(金) I4:00~I5:30 | 「演劇と日本美術」 講師 赤間 亮さん | 日本の演劇は、絵画として様々に描かれてきました。とくに江戸時代に浮世絵というメディアが発達して、多くの俳優や場面が絵画として複製されました。一方、歌舞伎という演劇は「絵になる」ことを特徴としており、それを踏まえて制作された演目もあります。こうした演劇と美術との関係が如実に現われた事例を紹介しながら、二つの分野が織りなす表現の特徴を鑑賞します。 |

FAX 送信用紙 ※FAX でお申し込みの場合はこちらをお使いください。 (切り取らずにそのままお送りください)

「周辺文化からみる日本美術」に申し込みます。

| | フリガナ | |
|-------------|------|-----|
| ご氏名 | | |
| ご住所 | | |
| 電話番号・FAX 番号 | 電話 | FAX |

上記に必要事項を記入し、高槻市立生涯学習センター(072-674-7704)へ送信して下さい。後日ハガキにてご連絡いたします。